

「東海道川崎宿」

速報版 No.3

について語ろう

～ 2023年の東海道川崎宿の姿を一緒に描きませんか～

(川崎宿 400年)

第3回 2023年までのロードマップをつくろう

平成30年12月8日(土)、東海道川崎宿について語り合う市民参加のワークショップの第3回(最終回)が川崎区役所で開催されました。第1回・第2回で検討してきた川崎宿や川崎の活かしたい資源や魅力、川崎宿が起立400年を迎える2023年をみんなで盛大に祝う企画やアイデア、プロジェクト案について、これからどのように進めていくのが良いか、スケジュールや担い手など、更に具体的な検討を進めました。



プロジェクト案1

古民謡・踊り、多摩川で未来につなげよう

川崎宿も登場する「お江戸日本橋」や、羽田に伝わる古民謡「大師めでたや節」を子どもたちに伝え、つないでいこう。

地域の古老に教わったり、調査、学校等で活用することから始め、地域のお祭りで披露したり、コンサートを開催したり…2021年頃には、多摩川の土手でみんなで歌ったり、民謡祝い唄の作詞に子どもたちと共に取り組んだり…

2023年の前年や当年のイベントで披露し、みんなの心を一つにしなが、盛り上げていけたらいいな。



プロジェクト案2

川崎三角おむすび音頭

今年度の川崎区いきいき提案事業に採用された、「三角おむすび音頭」。川崎宿三角おむすび発祥の地説(川崎御紋むすび伝説)を活かして生まれたこの歌と踊りを2019年から区内、市内の盆踊り等を通じて広め、2021年頃には踊り手や歌手のコンテストなど開催。2023年には、2,023人、4,000人を目標にみんなで東海道を踊りながらパレードし、その後も踊り継いでいく構想です。



プロジェクト案3

お神輿パレード

川崎宿400年を盛大に祝い、皆の心を一つにする「お神輿パレード」。普段はそれぞれのお宮に属しているお神輿を一同に集め、これまでにないスケールのパレードを実現したい。数年がかりで、地域や各神社への働きかけ、旧東海道を盛り込んだコースの設定などを進める必要があります、近隣宿場のお神輿にも参加を呼び掛ける案もあります。





プロジェクト案4

川崎宿案内板の充実

川崎宿の案内板や案内地図も 2023 年に向けて、さらなる充実を図りたい。川崎宿浮世絵を JR 川崎駅中央口に設置したり、川崎宿全体の大きな案内板を駅前に！

企業や商店街、地域活動団体の協賛も募りながら、旧東海道沿道のサインの統一や、歴史を意識させる街灯なども整備できたら理想です。

プロジェクト案5

坂本龍馬と共に、夢を語り、行動しよう！

自分のまちは自分達でつくる？坂本龍馬の精神を学ぶ勉強会から、若者やシニア、外国人が川崎での夢を語るスピーチコンテストにつなげ、さらにはチネチッタ 100 年に合わせた映画祭、シンポジウムなどでまちづくりの機運を盛り上げていく計画です。



その他のプロジェクトの案

- ◆六郷川 1623 川崎宿…多摩川河川敷で季節イベントを開催し、子どもたちや親子が集うコミュニティづくり
- ◇2023 川崎大絵画展…市民参加の大規模な絵画展、展示会の開催で郷土愛や未来への夢を膨らませよう！
- ◆新川崎まつり…平和・音楽・昭和・幕末・未来など毎年テーマを掲げ、様々な企画や歴史検証で盛り上げる
- ◇アマチュア無線記念局…特別記念局の開設、交信証明書などの発行で国内外に広く川崎宿 400 年をアピール

どうやって進めていく？ 全体ロードマップづくり

最後に参加者全員で、それぞれのプロジェクトを一つの大きな年表に落とし込み、地域全体でどのように進めていったらよいのか、話し合いをしました。

それぞれのつながりや団体で出来る事から積極的に取り組んでいくことを確認する一方で、様々な地域団体や企業への声かけ、「地域全体での祝い」機運づくりなどの必要性も指摘されました。また、全体の統括・調整のため、2020 年頃までに「実行委員会組織（準備会）」を立ち上げ、参加していきたいという前向きな案も出ました。



■ 今後について（事務局：川崎区地域振興課） ■

今回、皆様からいただいたアイデアやプロジェクト案などを基に、川崎宿が起立 400 年を迎える 2023 年を見据えた「ロードマップ」をまとめ、今後の行動指針とすると共に、より多くの地域の方々との情報共有、意見交換を図りながら、2023 年及びそれ以降に向けたまちづくりを、地域と共に推進してまいります。